

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援ほっと		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 18
○従業者評価実施期間	2024年 12月 2日		2024年 12月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の質が高い	指導員は保育士のみを採用している。子どもの発達段階や成長の姿を理解したうえで子どもたちと関わるので、得意なことや課題を見分ける力に長けている。また、遊びの中で課題にアプローチをかけるので子どもへの負荷も少なく、笑顔で来所してくれている。	定期的に研修(社内・外問わず)を実施し、職員の質を確保していく予定である。
2	幼稚園・保育園・他事業所と連携している	幼稚園・保育園・他事業所に通われているお子さまに関しては学期ごとに訪問させて頂き、情報交換をしている。保護者から「ほっとさんを利用してから園生活が安定してきた。」とお声を頂いている。	連携を通して発達に遅れのあるお子さまとの関わりがわからない園が多くあることを知ったので、我々から積極的にお声掛けし、療育について知って頂きたいと考えている。また、事業所に通う子どもたちが園の子どもたちと関わる機会を作っていきたい。
3	定期的なイベントの開催	野菜の収穫体験や遠足、プール、夏祭り、クリスマス会など季節ごとに様々なイベントを開催している。かなり好評で募集するとすぐに定員を満たしてしまう。なるべく全員が参加できるようにご案内しているが、定員の関係でご案内できないこともある。	なるべく全員が参加できるように予定や日程を調整していく。イベントはいつも大盛況頂いており、常に満員である。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	情報伝達がうまくいっていない	家族支援や苦情解決など、実際に行っているもしくは体制があるにも関わらず保護者の方に周知されていない。おたよりで発信しているが共働き世帯が多く、おたよりを読む時間がないのではないかと考えている。	こちらからお声がけをさせて頂き、制度について知ってもらうのがいいと考えている。また、契約時にも別紙等を作成し、事業所の取り組みについて理解してもらう必要があると考える。
2	活動スペースが狭い	会社として初めて出した事業所のため、予算の兼ね合いで今以上の広さを確保することができなかった。	死角をなくしたり物の配置を考えたりして危険をなくしている。おもちゃ等も全部出すのではなく入れ換えを行ったり職員の配置には気を付けたりしている。
3	PT・OT・ST等の専門職が在籍していない	幼稚園・保育園への就園を目標に療育を行っているため、専門職の配置を検討していない。 業界歴が長い保育士が多数在籍しているため、専門職の配置がなくても高い質を確保している。	現状、PT・OT・STの採用を考えていない。